



発表項目 (行事名)	道立農業大学校学生による援農の取組について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>■ 道立農業大学校は、新型コロナウイルス感染症の影響で人手不足の農家に学生を援農として派遣。</p> <p>■ 援農の取組については、農大の農業経営研究科の総合実習として行うものであり、JA道中央会と連携し、研究課題など学生の希望と人手不足の農家のニーズを調整した上で実施します。</p> <p>【援農の概要】</p> <p>○ 農業経営研究科学生1名により、9月7日から8日間、道内農家の援農を実施します。</p> <p>■ 期間 令和2年9月7日(月)～14日(月)</p> <p>■ 場所 有限会社木樋桃源ファーム(津別町)</p> <p>■ 実施者 農業大学校農業経営研究科学生1名</p> <p>■ 作業内容 ばれいしょ、玉ねぎの収穫など</p> <p>※ 農業経営研究科では、学生3名により、5月下旬から8月上旬にかけて道内3農家の援農を実施しました。</p> <p>○ また、養成課程1年生の教育課程で実施している体験学習(指導的農業者の下で農業を体験し、指導を受ける現地実習)においても、8月下旬から9月上旬にかけて、道内30農家へ援農を実施しています。</p> <p>【参 考】</p> <p>○ 道では、新型コロナウイルス感染症の影響により、休業を余儀なくされた企業の従業員等と、人手が足りない農家とのマッチングに向けて、令和2年5月7日に農業団体、経済団体、ホテル業界などを構成員とする「北海道援農推進連絡会議」を設置し、企業や大学等に援農の働きかけを行っています。</p> <p>○ 農業大学校の対応として、既存の教育課程で実施している農業経営研究科の総合実習先を人手不足の農家とすることによって、教育と両立した援農を実現します。</p> <p>○ 教育の一環でもあることから、実習計画における研究課題や学生が希望する営農形態・地域・期間等を踏まえ、援農先を選定しています。</p>		
参 考			
報道(取材)に当たってのお願い	<p>○ 地域の人手不足を支援する学生の取組と農業大学校のPRのため、当日の積極的な取材について、よろしくお願ひします。</p> <p>○ 援農の詳細については、農業大学校までお問い合わせください。</p>		
他のクラブとの関係	同時配付(場所) 同時レク		
担 当 (連絡先)	<p>農業大学校総務部(担当:寺林)</p> <p>TEL ダイヤルイン 0156-24-2121</p> <p>農政部農業経営局農業経営課(担当:松村、伊藤)</p> <p>TEL ダイヤルイン 011-204-5385</p> <p>内線 27-356</p>		